

私たちの まち



元吉原小学校6年
荒川百合子



きのう、友達と学校に来るとき、とてもよく晴れていて、空もきれいだつた。だが、富士山と私の間には、大昭和の工場と煙が、どつかりとすわりこんでいた「今日は雲一つない日本晴れだね」「そんなことないよ。ほら、あそこに煙でできた、公害の雲があるじゃん」なんて話しながら来た。どんなに晴れていても、いつも公害の雲があるなんていやだなあー。日本一美しい富士山が、だいなしになつちやうもの。私は生れた時から鈴川に住んでいる。

けじゃないのだから。それと、極端に言えば郷土愛みたいなものを、どうやつてかもし出していくかという「至上命令」があつて登場したと思うんだ。だから、市長はもつと間口を広げるべきだし、広げ方が少ないような感じもするね。

記者 広げるだけじゃ意味はないよ。広げたらそれを生かさなければ…。

記者 市民党市長といわれる渡辺さんが

全力投球した終末処理場の建設（※中小120工場の製紙汚水を富士岡耕地で一カ所で処理する計画だつたが、地元の反対で建設できなかつた）の波紋は大きかつたね。

市長 うん…。不徳のいたすところですよ。市民の方々にいろいろご迷惑かけたことを、反省しています。

神をつちかわなくては…。

記者 自己処理（※企業が個々に、法律にあうように水をきれいにして、排出することになつた）をするには、敷地がない、金がないからつぶれるというが、実際は一軒だつてつぶれたりしないし、転業も廃業もないんだからね。やれば、できるんだよ。

市長 それは簡単に結論づけるわけにはいかないと思うんですよ。私が終末処理場に固執したのは、水をきれいにするだけでしたら個別処理も可能なんです。しかし、あとのスラツチの始末、焼却、それをまた、運ぶ交通事情を考えたから、個別処理を積極的に業界にもいえなかつたわけです。公害対策は局部的なものでは解決できないと思うんです。都市全体の中で考えていかなければ、恒久的な方策にはならないんじゃないですかね。もちろん、一た



東京・山田記者

公害防止、市民のなかに根をおろす

記者 富士川火力、そして、こんどの終末処理場建設をめぐる一連の公害問題をキツカケに、富士市にも住民運動の目見え、いやそれ以上のものが出てきたように思うね。ことわつておくけれど、結果がいいか、悪るいかは別ですよー。

記者 公害は繁栄のヒズミくらいにしか考えていなかった市民が、口ぐせに「公害」はいやだというムードが、市民の中に一步一步根をおろしているといえると思うな。

記者 僕は富士川火力のときにくらべて「公害反対」が純粹になつてきたような

気がするね。

記者 それは、どうかな。

市長 公害が困る、なんとかしなくちやというのは、19万人の市民の共通の願いであり、最大の課題ですからね。

記者 そういう意味でも、企業も住民パワーにおされて、仕方なく「公害防止」をやるんじゃないかと、どんどん先取りしてやるくらいの責任がなくては、ダメだよ。住民も納得し協力もしないと思うんだ。

記者 企業も行政依存をほどほどにしないと、だめなんじゃないのかな。自立精



●富士駅周辺整備に抜本策を

富士駅周辺の区画整理は、計画が発表されてからすでに10年たつたが、いつころに進展していない。このため、将来の計画もたてられず困惑している。抜本的な対策を…。

（平垣本町・渡辺和雄 46才）

だから、砂と松林にかこまれたここが大好きだ。父からも昔この辺が美しかった頃のことを、聞かされることがある。

それなのに、このごろはヘドロや公害で、すごくきたない町としてさわがれている。

よその土地の人はヘドロ見物に来て、ハンカチで鼻をおさえたりしている。宇宙猿人ゴリでは、田子の浦港からかいじゆうがでたりした。何かの本では田子の浦を、すごく不潔できたない町として書いてあった。

でも、朝のさわやかさだつて、港の黒

い水にうつる大きな夕日だつて、私は知っている。

悪口を言われても、これは私のふるさと。だから、悪く言われるのはやつぱりすきではない。

いくら工業の発展のためとはいえ、きれいな空気や青い空をなくして、きたない水を作つて、きたない空気を作つて、きたない煙を出していいわけではない。作るだけ作つておきながら、あとは知らん顔をしているなんてひどい。

私達の学校では、よく空気のきたない日「今日は、空気がきたなくてくさいの

で、窓をしめてください。」なんていう放送がある。私達は、いつでもいつばいに窓をあけていられる日を、1日も早くほしい。

港の南の石油基地の付近や、防潮堤の下に公園を作るということ聞いた。こういう、いい面がどんどんすすめられていることはうれしい。だけど、私達の町の一番の願いは、「松林の松や、砂の上で遊ぶ私たちに」、きれいな空気と水を1日も早くほしいということだ。ほんとうに、そんな日が早くこないかなあーと思つている。



日本経済・北島記者

ん、自己処理が決まったからには、法は守ってもらわなくては困りますがね。

記者 ミザル法と批判されないように毅然とした姿勢で望んでもらいたいな。

記者 僕はね、終末処理場が破算になったことで、いま市長がいわれるようにそれぞれ功罪があると思うんですよ。市サイドからみても罪ばかりだけじゃないと思うんです。僕が一番評価していることは、企業が自分たちの手でやらなければいけない—という自覚をしたということです。とにかく、これまで行政は、企業に依存させるような、姿勢をとつてきたと思うんです。行政がそういうものを持続していこうとした結果が、終末処理場と思うのだが。

市長 行政というのは市民全体のことを考えて、対処しなければなりませんからね…。

'72年 市民ぐるみの緑化運動進める

司会 公害問題の論議は、つきないと思いますが、この辺で、みなさんの目から見た渡辺市政3年目に対する期待感みたいなものを聞かせては、いただけませんか。

記者 われわれの言う前に、市長の考え方を聞かせてもらいたいな。いま、ちょうど新年度予算の編成期でしょ。財政の見通しや具体的な施策といったものを…

市長 そうですね。新年度予算を編成するにあたって、一言でいえることは経済が好転しないかぎり、税収の歳入増が期待できないので、近年にない苦しい台所になると思うね。しかしね、金がないから何にも出来ないじゃ困るので、行政のムダなものはできるだけ省いて、前向きにやりますよ。基本的な方針は、昨年進めた4本の柱(※①健康と安全を守る快適な環境づくり、②都市基盤の整備、③教育環境の整備充実、④こどもの健全育成と老人福祉)を中心に今年もやつていきたいと考えています。中でも、富士

駅前や庁舎周辺の開発、住工分離をはかる企業の団地化、社会体育施設の整備、緑のまちづくり—といった快適な都市生活を再現する行政を進めたいと思つています。それから役人のカンや経験だけでは、総合的な



NHK・中津川記者

地域開発をしていくことがなかなかできないので、コンピューターシステムを、もつと充実していきたいと思つています

記者 グリーン作戦は、大いにやつてもらいたいね。しかし、理想論だけじゃ困りますよ。遠大な計画はもちろん必要なことだが、だれでも木を植えられる、例えば一軒一鉢とか、子どもが生まれたら記念に苗木を無料でくれる—といった身近なことから、やつてもらいたいね。

●運動施設がほしい

公共施設が少なすぎる。市民プール、運動施設、博物館、児童会館など。二〇万都市にふさわしい施設をたくさんつくれば、公害ですんだ市民の心も和むと思うけど…。

(柚木・渡辺俊一 18才)



ぼくらの
まち



鷹岡小学校 5年
野口不二雄



ぼくらの町、富士市は田子の浦港のヘドロ問題で、世界じゆうに公害のことで名前が広まってしまった。

田子の浦港ができたころは、水もすきとおつていて、自然を作り変えてできた港として有名だったが、今ではヘドロ港として有名になっている。

そこで、ぼくは未来の富士市を考えてみた。

今から10年先には、ぼくはもう大学生になっている。そのころには、田子の浦港のヘドロなど、ぜんぜんなくなっているかもしれない。人間の科学

の力で、ヘドロをなくしてしまうからだよ、それだけではなく、富士市だけでなく、日本じゆうの公害がなくなっているかもしれない。

もとの美しさを取りもどした田子の浦港は、また、美しい港として、話題になるかもしれない。そうすれば、町の中もみちがえるように変わるだろう。

町の中はどうなるだろうか。商店などがふえて、競争がはげしくなつて、売物が安くなっているかもしれない、学校や病院などの数も、きつとふえていることだろう。とくに、鷹岡には、小学校と中

足りない文化・スポーツ施設

記者 僕らが転勤で富士駅に着いて、アツと驚くのは、ここが富士の玄関口かということです。田舎の駅前広場って感じだな。住民も本気になつて改造をやる必要があるんじゃないのかな。

記者 富士、吉原、鷹岡の核を結ぶ幹線道路を早急につくることが大事じゃないかと思う。何につけても、合併前の3つの核が大きくたちはだかつて、スムーズな運営がされていないような気がするね。渡辺さんが、3つの核を払いのけるような施策をしたら、ほんとの「革新」だと言う人もいますよ。

記者 僕は20万都市にしては、あまりにも文化施設やスポーツをする場所がないと思うんだ。皆無といつても、いいんじゃないのか。

記者 有形、無形の文化財保護はもとより、自然の保護に力を入れてもらいたいね。とどまることをしない開発を、野放しにしておく大変なことになるね。例えば、僕は釣りが好きだから言うんじ

やないが、須津川の「ヤマメ」なんかの保護も考えてもらいたいね。あれは貴重な魚ですよ。市民にうるおいをもたせる施策をどんどん進めてもらいたいね。

市長 みなさんから、いま忠告を受けたように、どれもこれも必要なことはわか



毎日・池田記者

つていても、財源難などから市民の要求をさばききれない、うらみもあります。しかし、昨年から森林公園を5カ年計画で着手もした

し、総合運動公園も青写真が描ける段階にきています。市民プールは今年中につくりたいと思つています。公民館活動の拠点となる社会教育センターの建設にもとりかかりたいと思つています。祖先の遺産を残す郷土資料館のようなものは、

今年は無理としても、ぜひつくりたい施設ですね。

記者 3年越しになつている産業廃棄物処理場の建設の見通しは、どうです。

市長 大淵富士本町のみなさんをはじめ地元の方々のご理解も得られつつあるので、今年中には何んとか具体化したいと思つています。

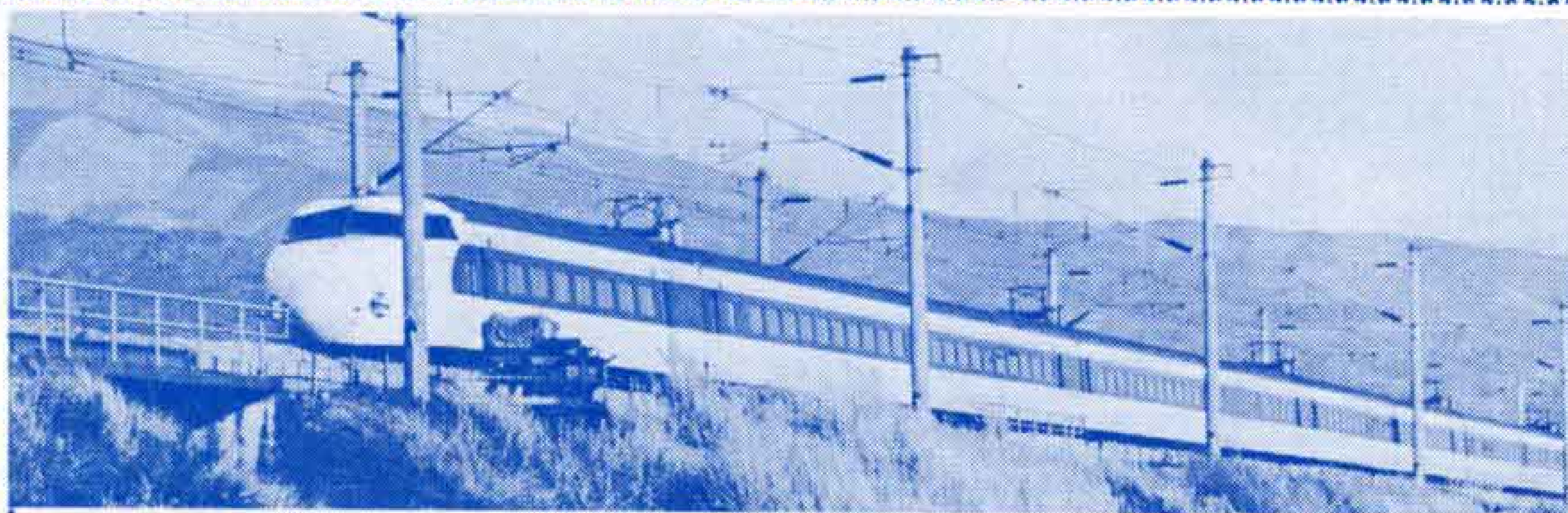
記者 河川浄化にもつと本腰をいれてもらいたいな。どこの川もきたないね。市民のモラルに訴えるしかないかもしれないが、折角ある河川課の方でも、もつとリーダーシップを発揮して、どんどんやるべきじゃないのかな。

記者 川といえば、富士団地の排水をさばく滝川は、あれで大丈夫かね。あのままでは、和田川の二の舞を踏むことは、必至だね。

市民意識を高める

ムードづくりを

記者 ほかの自治体で、ぼつぼつ始めた老人医療の無料化はどうか。どうも



●新幹線富士駅の誘致を

富士市の発展のためには、新幹線富士駅の誘致が必要ではないか。現在の富士駅南口を整備し、モノレールで新幹線と結ぶなど、富士市の将来の大構想をたててほしい。
(上横割・望月竹松 59才)

学校が1つずつしかないから、もつと多くなるだろうと思う。

それに、一けん一けんの家がよくなっていることにちがいない。そうすれば、みんながしあわせになれるんだと思う。

これは、富士市だけでなく、日本じゅうがそうならいいと思う。だけど、全部が全部、ぼくの考えているようにはならないかもしれない。

それでも、日本じゅうだけでなく、世界じゅうが、早くそうならいいな、とぼくは考えている。



小学生コーナー

このコーナーは、市内の小学生のみなさんに、町の実感を書いてもらうものです。今月から毎回連載していきます。たくさん発言をおまちしていますが、お寄せくださるときには、字数は600字以内にして下さい。名前、学校名、学年も忘れないで下さい。

あて先は、富士市役所広報課＝富士市永田61の1＝です。

渡辺さんは、おとしよりに冷たいようだが…。

市長 老人福祉は、市政の重点事項にかかげてやっていますよ。老人医療の無料化は、国県のかねあいがあるので、市独自の考えはありません。ただ、今年中にオープンさせる社会福祉センター（※老人、身体障害者、心身障害児、母子世帯の人たちが、レクリエーションと機能回復に利用するところ）を充実するので、そうした中でカバーしたいと思っています。



読売・高山記者

記者 市役所は立派だが、ほかの公共施設の管理がどうもいただけない感じがするんだな。例えば町の中にある公園なんだが、折角つ

くつても、あとの管理が悪いので、草はぼうぼう、小石はごろごろーあれじゃ利用する人なんかいないと思うよ。

記者 同感だが、僕は市民意識というか

市民の方も反省する点があるんじゃないのかと思う。公共施設は誰れがつくったわけではなく、一人一人の税金の結集だつてことを忘れちゃいけないね。

記者 そういう意味で、昨年ある会社の従業員が、われわれが手本になろうと、いつて、会社ぐるみで海岸の清掃をやつたが、こういう市民意識を大いに育ていく必要があるね。

記者 官制だけではうまくいかないね。市民がやる気をおこすようなムードづくりを、大いにやつてもらいたいね。

いたいね。

記者 大いにやつてもらいたいね。

記者 そのとおりだね。



司会・西条弘

市長 いろいろ勉強させていただきます
記者 勉強だけじゃ進歩はないと思うね
実行に移してくださいよ。
市長が口ぐせのようにいう

、19万人の市民が、市長の勇気と英断を望んでいると思うんです……。

司会 今日はお忙しい中を、へドロ問題にはじまり、一連の公害に対する市長の姿勢、あるいは、市政の各般にわたる、貴重なご意見ありがとうございました。これからも、どんどんご批判をうけたまわりしたいと思いますので、よろしくお願いします。

では、この辺で……。

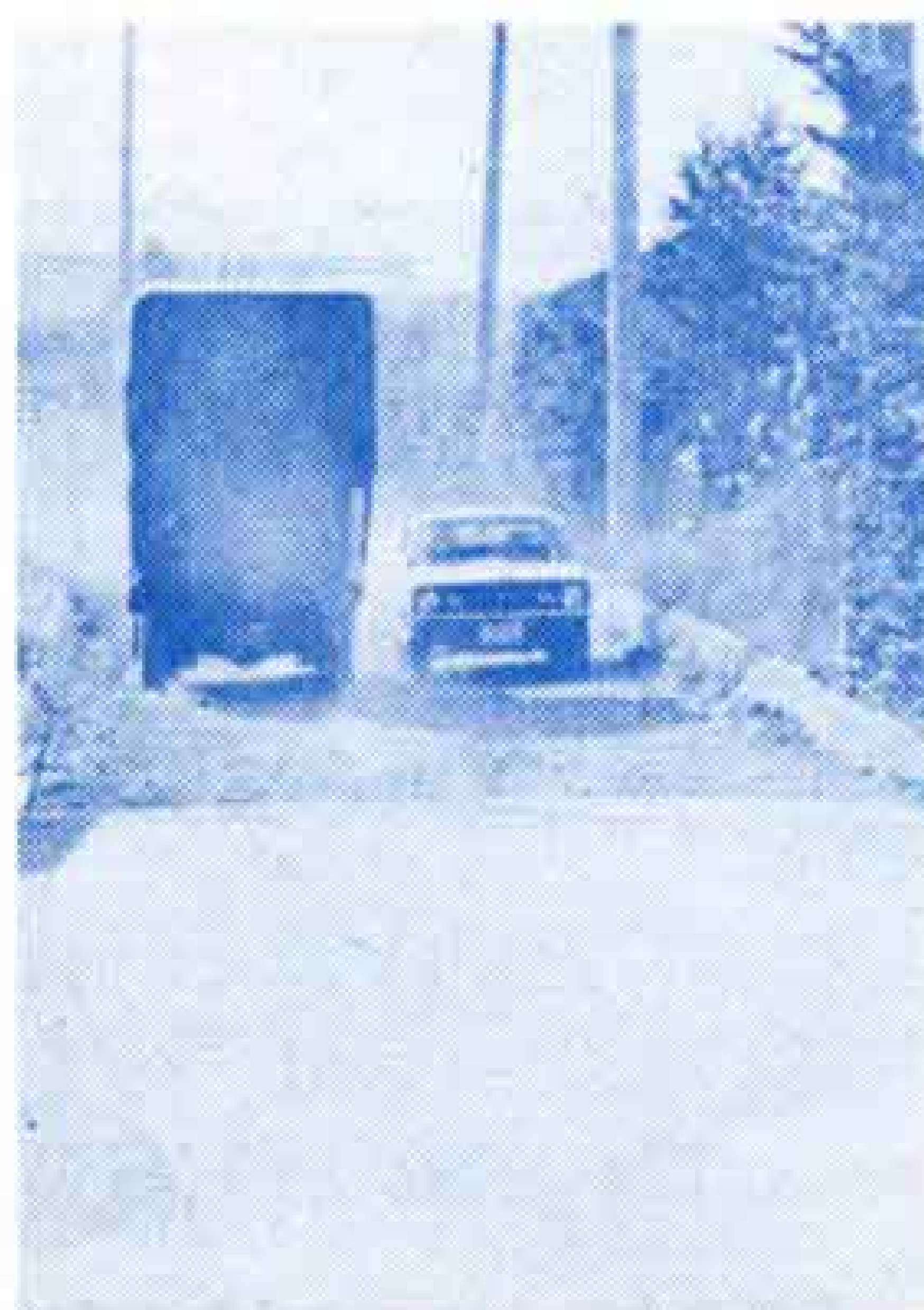
市長 ありがとうございました。

(おわり)

市役所の沈滞ムード

ふきとばせ

記者 ムードといえば、僕は取材をして感じるんだが、市役所に沈滞ムードが、ただよっているような気がするね。渡辺さんも、もう2年も市政をやつてきたのだから、おおよそのことは、わかつたはずだと思んだ。今年は、思いきつた人事の刷新なんかもやつてみて、職員のエネルギーを、市民のために引き出してもら



●腹が立つコマギレ舗装

いつも腹立たしく思うのに道路の切れ切れ舗装があります。役所は、そのたびに「予算が…」といいますが、もう少しなんとかなりませんか。
(伝法町二・鈴木まつ江 25才)

●緑のまちづくりを

市内には緑が少なすぎる。街路や空地に市費で植樹をしてほしい。一般家庭には樹木のあつせんや助成も考えて、緑の町づくりを実施していただきたい。
(比奈・前川昌資 43才)

